



ベトナム証券市場ニュース 6月4日

VN 指数は方向感なく推移 (VN-Index -0.11%)

- 相互関税交渉期限である来月 8 日を前に、優先的に交渉を行っている各国とアメリカが合意に近づいているとの発表を受け、本日の VN 指数は寄り付きで大幅に上昇した。
- 前場の中盤ごろには投資家の様子見機運が高まり、指数は前日終値圏を小幅で推移した。
- 結果的に小幅安で大引けとなった。明日以降も引き続きボラティリティの高い相場が予想される。
- 食品・飲料セクターが本日の相場で最も堅調に下支えした。
- 153 銘柄が上昇、151 銘柄が下落、70 銘柄が変わらずとなった。
- 売買代金は 8.8%減の 23.5 兆ドンとなった。

VN30 は昨日から一転して下落 (VN-30 -0.18%)

- 大型株で構成される VN30 指数は 6 銘柄が上昇、21 銘柄が下落、3 銘柄が変わらずとなった。
- VNM (+2.52%)、VJC (+2.23%)が最も上昇した。
- 一方、MWG (-1.76%)、GAS (-1.52%)、STB (-1.44%)が主要な下落銘柄として重しとなった。

セクター・個別株の動き

- タイの大手食肉業者である CP グループの食肉衛生に関するニュースにより、影響力の大きい北部にて豚肉の価格が上昇している中で南部では価格が安定し

ており、DBC (+6.85%)、MML (+5.15%)といった競合他社の株価は連日上昇している。

- PVS (+3.61%)は、2027 年までの未実現売上が 2024 年の売上の 4 倍に相当する 100 兆ドンに達すると明らかにした。
- 外国人投資家は 130 億ドンをゆるやかに売り越した。VHM (-0.64%)、STB (-1.44%)は外国人投資家より極端に売られ、買い越し銘柄には目立った銘柄は見られなかった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd. (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

JSI は、ベトナムの証券法に基づいて設立されたベトナムの証券会社であり、日本の金融商品取引法上の登録を受けた金融商品取引業者ではありません。